

開園20周年記念号



上野原縄文の森だより

UENOHARA JOMON NO MORI

2022.10
Vol. 43



ボクもハタチになりました。

- 上野原遺跡の発見・公開と上野原縄文の森のあゆみ
- 縄文の森開園20周年を迎えて
- 注目の新聞記事
ボランティア団体「どんぐり倶楽部」
- 縄文の森のみどころマップ
- 20年間の企画展紹介



上野原遺跡の発見・公開と 上野原縄文の森のあゆみ



住居跡の大きさを
実感!



大規模な
発掘作業が
行われました



当時はバスで
作業員さんを
送迎して
いました



対の
壺形土器を
皆で検討中...



調査区内の
土砂を処理



縄文の森キャラクター
じょうもんくん



今から
図面に
記録します!



大盛況の
現地公開



Welcome
上野原遺跡は...



春・秋まつりは
毎年大人気!!



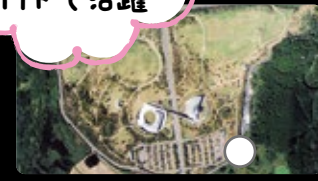
着々と完成に
近づいています



平成14年
10月5日
上野原縄文の森
開園!!



国分南
中学生も
ガイドで活躍



平成14年
10月12日
高円宮殿下が
視察



平成24年
7月25日
150万人突破!!



20周年ありがとうございます!

最新の研究により
上野原遺跡の年代が千年古いことが
わかりました。
それに伴い、来年度展示を
リニューアルします!
これからも古くて新しい
上野原縄文の森を
よろしくお願いいたします。



開園15周年記念の
コンサート&
ライトアップです!



次は30回の
記念大会です!



平成30年
10月19日
200万人を
突破しました!



霧島周遊
観光バスが
就航していました



コロナの休園中
おうちで展示を
楽しめる動画を
公開!



竪穴住居を
葺き替えました!



★おかげさまで20周年★



上野原縄文の森は開園20周年を迎えると同時に、鹿児島県立埋蔵文化財センターは開所30周年、埋蔵文化財調査センターは開設10周年を迎えます。

上野原縄文の森開園20周年にあたって

上野原縄文の森 園長 堂込 秀人

上野原縄文の森は「史跡上野原遺跡」を中核に整備された歴史公園です。上野原遺跡のガイダンス施設にとどまらず、埋蔵文化財センターと併設して「南の縄文文化」の発信基地として、また県内の発掘調査された埋蔵文化財の展示・公開の施設として整備されました。

南側の8,500年前頃の照葉樹の森と北側の1万年以上昔の落葉樹の森として復元された縄文の森も、秋には多くのドングリの実を落とし、多くの昆虫が住む森となりました。歴史にとどまらず、いろんなニーズのお客様に楽しんでいただけたと思います。二つの森の景観と、森にはその環境で生きる昆虫や動植物がいる可能性もあり、そこにも新たな公園の価値が創られています。

歴史公園としては、今後も、展示や埋蔵文化財の情報、体験活動など少しずつでも更新し、いろんなイベントで職員もお客様も楽しく経験し交流する「生きている施設」となるよう努力したいと思います。



県立埋蔵文化財センター開所30周年

県立埋蔵文化財センター 所長 中原 一成

埋蔵文化財の調査・研究等を行う鹿児島県立埋蔵文化財センターは、平成4年に旧始良町重富に設立され、平成14年、「上野原縄文の森」の整備に伴い現在地に移転して参りました。

これまで多くの方々に支えられ、今年、設立から30年、移転から20年の節目を迎えました。これからも、旧石器・縄文時代から近・現代まで、人類や地域の歴史・文化の成り立ちを解き明かす埋蔵文化財の価値を未来の担い手に伝えるため、「上野原縄文の森」はじめ関係機関と連携・協力して、貴重な歴史的・文化的遺産である埋蔵文化財の保存・活用と情報発信に取り組んで参ります。



埋蔵文化財調査センター開設10周年

埋蔵文化財調査センター センター長 中村 和美

上野原縄文の森開園20周年、おめでとうございます。上野原遺跡の発掘調査や現地公開、上野原縄文の森の開園準備に関わった者として、20年の節目を迎えたことに感慨深いものがあります。

さて、今年埋蔵文化財調査センターも開設10周年を迎えます。発掘調査を主に行う機関ですが、上野原縄文の森とは同じ鹿児島県文化振興財団内の機関として、県の文化活動の一層の活性化と個性豊かな文化の薫り高い地域社会づくりに寄与するため、これからも埋蔵文化財情報の提供ははじめ様々な面で上野原縄文の森と連携してまいります。引き続き共に歩んでいきましょう。



上野原縄文の森とは？

上野原遺跡は、南に鹿児島湾や桜島、北に霧島連山を望む、鹿児島県霧島市東部の標高約250mの台地上にあります。約10,600年前には定住したムラがつくられ、また約8,500年前には儀式を行う場として、森の恵みを受け、縄文時代の早い段階から多彩な文化が開花し、個性豊かな縄文文化がきずかれました。

「国内最大規模かつ最古級の定住化した集落跡」として国指定史跡に指定され、壺形土器や土偶・耳飾りなど出土した遺物767点は国の重要指定文化財に指定されています。

上野原縄文の森は上野原遺跡の保存・活用を目的として、平成14年10月5日に開園しました。広大な園内は、太古の森を再現しており、出土遺物が展示してある「展示館」や「遺跡保存館」・「復元集落」などがある「見学エリア」と縄文体験のできる「体験学習館」や「祭りの広場」などがある「体験エリア」の二つに分かれています。

埋蔵文化財センター・埋蔵文化財調査センターとは？

鹿児島県全域を対象として、発掘調査を行い、その成果を「発掘調査報告書」にまとめるとともに、埋蔵文化財の保存や活用、情報発信など文化・教育機関としてその仕事は様々なものがあります。



上野原遺跡発掘調査担当者の声



開園20周年にあたり、上野原遺跡の発掘調査に深く関わられた鹿児島県立埋蔵文化財センター第一調査係長 黒川さんにお話を聴くことができました。

上野原縄文の森開園20周年おめでとうございます。私は、現在の国指定史跡、上野原遺跡の発掘調査を担当しました。思い返すと、上野原遺跡発掘の担当職員の中で最年少、埋蔵文化財センターに赴任して初めて担当したのがこの上野原遺跡の発掘でした。縄文時代に降灰した桜島火山灰層上面で発見される遺構数は、想定の上を行き、それらの調査に追われる日々が続きました。その中で、遺跡から多くの事を学びました。職場の先輩からは、「遺跡は育てるもの」と教えられましたが、私の場合は、遺跡に育てられました。遺跡には多くの学びがあります。これからも、多くの仲間と遺跡に学び、遺跡を育てていきたいものです。



国分南中学校ボランティアガイド

地元霧島市の国分南中学校の生徒さんによるボランティアガイドを平成11年7月から継続しています。夏休み期間などを利用し、事前研修を受けた後、スタッフとして園内を案内するなど、縄文の森を盛り上げてくれています！

いつも元気いっぱいにご案内いただきありがとうございます！



生徒の感想

お客さんがとても真剣に話を聞いてくださるので、「しっかりガイドしよう！」という自覚が芽生えました。お客さんに楽しんでもらい、自分も楽しみながらできて良かったです。この経験を今後生かしていきたいです。

生徒の感想

初めてボランティアガイドに挑戦して、不安や緊張がありましたが実際にガイドをしてみたら次第に緊張も解けて、いつの間にか楽しく感じてきました。お客さんに「あー！そういうことなのね！」と理解してもらえた時は大きな喜びを感じました。



注目の新聞記事ピックアップ!

9500年前の縄文集落跡



鹿児島・上野原遺跡



国内最古「三内丸山」の400年前

▲平成9年5月27日毎日新聞

鹿児島県伊佐市上野原の縄文遺跡「上野原遺跡」が、約9500年前の縄文時代の集落跡と見られることが、最新の調査で明らかになった。この遺跡は、国内最古の縄文集落跡と見られる「三内丸山」の400年前に相当する。調査は、鹿児島大学と鹿児島県立博物館が共同で行った。上野原遺跡は、約9500年前の縄文時代の集落跡と見られる。この遺跡は、国内最古の縄文集落跡と見られる「三内丸山」の400年前に相当する。調査は、鹿児島大学と鹿児島県立博物館が共同で行った。上野原遺跡は、約9500年前の縄文時代の集落跡と見られる。この遺跡は、国内最古の縄文集落跡と見られる「三内丸山」の400年前に相当する。調査は、鹿児島大学と鹿児島県立博物館が共同で行った。



上野原遺跡の出土品767点 国の重文指定へ

審議会が答申

▲平成10年4月22日鹿児島県新聞

再測定で1000年古く

上野原遺跡 1万年超前の大集落

鹿児島県伊佐市上野原の縄文遺跡「上野原遺跡」が、最新の調査で明らかになった。この遺跡は、国内最古の縄文集落跡と見られる「三内丸山」の400年前に相当する。調査は、鹿児島大学と鹿児島県立博物館が共同で行った。上野原遺跡は、約9500年前の縄文時代の集落跡と見られる。この遺跡は、国内最古の縄文集落跡と見られる「三内丸山」の400年前に相当する。調査は、鹿児島大学と鹿児島県立博物館が共同で行った。

学び・体験の場 定着

上野原縄文の森 20周年

238万人来場、遠足など盛況

▲令和4年9月15日南日本新聞



上野原縄文の森 ボランティアグループ どんぐり倶楽部



縄文の森のボランティア団体「どんぐり倶楽部」さんには長年に渡り、どんぐりイベントの開催や春・秋まつりでの屋台村の出店、復元集落でのガイドなど様々な面で縄文の森をサポートしていただいています!

上野原縄文の森開園20周年おめでとうございます。
 数年前に遺跡の修復作業に関わり、本県にこのような大集落や遺跡がある事に驚きました。人間の知恵と進化は素晴らしいものですね。その作業がきっかけで先輩に誘われ、「上野原縄文の森支援友の会 どんぐり倶楽部」に入会し、ガイドまで引き受けるようになりました。年間の行事の中で子ども達のお手伝いしながら一緒に学び、自分自身も成長させていただいています。このような施設に関わらせていただいている事に誇りに感じております。上野原縄文の森をもっと全国の方に知ってほしいと思います。これからも会員1人1人と園の方々と一緒に楽しくやっていきたいです。



上野原縄文の森支援友の会 どんぐり倶楽部 会長 塩水 重男

どんぐり倶楽部のイベント



縄で作る正月飾り&干し柿作り



太古の森を歩く! 森さんぽ



まつり屋台村



本格派流しそうめん&工作



縄文村の十五夜まつり

どんぐり倶楽部 会員募集

どんぐり倶楽部は随時会員を募集しています。
 ご自身の特技を生かして活動に参加してみませんか?

- ★ イベントが好きの方
- ★ 子どもと楽しくふれ合いたい方
- ★ 自然の中でのガイドに興味がある方

問合せ どんぐり倶楽部事務局 (縄文の森内)
 ☎ 0995-48-5701



縄文の森みどころマップ ～のんびり癒ったり縄文の森～



縄文の森のみどころ施設やウォーキングコースなどを紹介します！

①エノキ〈展示館前シンボルツリー〉

大きなエノキ。ウォーキングコースのスタートとゴール地点の目印に。



ムクロジ

本州茨城県・新潟県より南、四国、九州、沖縄に分布する落葉高木。人家周辺や公園、とくに神社に多く植栽されています。



②カタクリ

早春に花を咲かせるユリ科の植物です。このカタクリの根茎からとれるデンプンを「片栗粉」とよんでいました。

タマゴダケ

見つけると幸せになれる「黄色いキノコ」かわいいけど決して食べないでください…。



ほかにも、園内には様々な植物があります。ゆっくりとご覧ください。

ドングリ〈秋頃園内中〉

園内には様々なドングリの木があります。

- ・アラカシ 丸い卵型から丸い樽型。常緑広葉樹。
- ・ウラジロガシ 卵型。常緑広葉樹。
- ・カシワ 球型。落葉広葉樹。
- ・イチイガシ 樽型から太い樽型。常緑広葉樹。ドングリは、渋みがないので食用となります。
- ・マテバシイ 砲弾型。常緑広葉樹。
- ・クヌギ 樽型から球型にちかいボール形。落葉広葉樹。
- ・コナラ 細長い卵型。落葉広葉樹。

だいたいの植生として、カシ・シイ類は体験エリア、クヌギ・コナラ等は見学エリアにあり、様々な大きさや形があります。ドングリの時期はぜひ比較・観察して見てみてください。

オレンジ色ラインの拾ってみよう

ドングリコース

復元集落を通るこのコース。実はコースとなっている園路沿いにはドングリの木がたくさん！拾うには秋ですがドングリには春に受粉してその年の秋に実る1年成ドングリと次の年の秋に実る2年成ドングリの2種類あります。さがしてみてください。

赤ラインのカメラ好き必須

見晴らし最高コース

弓張り橋を渡り、まつりの広場、オオガハスのある池に展望の丘を巡る眺めの良いコース。ぜひカメラを持って楽しんで歩いてください。

青色ラインの緑を満喫

森林浴コース

大きく園内を回るコース。森林浴をしながらのんびり回するにはちょうどいいコースです。

黄色ラインの健康増進

体力作りコース

縄文の森の外周を回るコース。平坦かと思いきや上りも下りもあるタフなコースです！道路を歩くこともありますので車等には十分気をつけてください。

見学エリア

コナラやクヌギ、クリなどの落葉広葉樹の森。約10,600年前の森を再現。冬は葉が落ち寂しくなります。春には新緑が芽生え生命の息吹を感じることの出来る森です。



⑥展示館の展望台

展示館3Fの展望台。桜島から霧島連山まで360度の大パノラマを見ることができます。



⑥アジサイ

6月頃園内の色々な所にアジサイが咲きます。復元集落に咲くアジサイ、風情がありますよ。



⑦復元集落

現代とはまったく違うお家。この形がポイント！中にも入ることができますのでぜひどうぞ。



⑨国指定史跡

遺跡保存館もある草原のような国指定史跡。晴れた日には爽やかな風が吹き、霧島連山など眺めるのも素敵です。夕日も綺麗でおススメです。

⑪弓張橋

縄文の森を見学エリアと体験エリアに分ける道路や風景が見られる弓張橋。弓と矢がイメージしてあります。



③大賀ハス〈オオガハス〉〈7月頃体験エリア古代池〉

弥生時代の地層から見つかったハスで発芽・開花させた博士の名字をとって大賀ハスといひます。朝が綺麗に見られます。

縄文の森ではさまざまな植物が見られますが、採集はご遠慮いただいております。この環境が維持できるのもお客様のご協力のおかげです。これからも暖かく見守っていただけますようお願いいたします。

④体験学習館

気軽に出来る縄文体験！いろいろなメニューをご用意しております！お気軽に係の者におたすねください。



紅葉

11月下旬から12月頭まで園内の木々が色鮮やかに紅葉して綺麗です。(見学エリア)



「縄文の森」の実は、〇〇なんですポイント

- ①実は7月～8月は駐車場が19時まで開放されています！ちなみに1月1日も駐車場開放していますので初日の出も見られたいです。
- ②実は縄文の森は、見学エリアと体験エリアでは植生が違います！季節によっては全く違う森の一面が見られます。
- ③実は縄文の森内にはところどころに石碑があります。これは様々な物の出てきた場所を表しています。ぜひ見つけてみてください。



20年間の縄文の森企画展

常設展示だけでは紹介できない鹿児島島の歴史や文化、縄文の森に関する考古学的な話題等をテーマにこれまで64回の企画展を行いました。

ピックアップ①

第36回

「～桜島大正噴火 100周年記念～
巨大噴火と共に生きた人々」

平成 26 年 1 月、桜島大正噴火から 100 年が経過しました。大惨事となった噴火ですが、私たちが暮らすこの大地は、大正噴火をはじめとする幾多の巨大噴火の噴出物で形成されており、その活動の痕跡は発掘調査によって明らかになります。

鹿児島県は、全国でも有数の火山地帯で、北は霧島から南のトカラ列島まで、数多くの火山が活発な活動を続けています。

桜島をはじめ南九州の火山・カルデラの活動史をたどるとともに、火山灰研究の成果や火山噴火と共に生きた人々の暮らしぶりを、地層剥取り資料や発掘資料などを元に紹介しました。

ピックアップ②

第42回

「蘇る SHOKU I
～食から見える古の生活～」

獲物を求めて山野を駆け巡る遊動の生活から、農耕などによる定住の生活へ…。

人々は、環境の移り変わりに適応しながら、生き抜くために身近にあるものを活用し、「食」を確保するために知恵と工夫を凝らして、多種多様な道具を作り、調理や保存の方法を開発してきました。発掘調査で得られた多くの情報から「蘇る SHOKU」として、古の人々の生活ぶりを、「食」に着目し数多くの出土品を紹介しました。

第44回の「蘇る SHOKU II」では「色」、第48回の「蘇る SHOKU III」では「職」をテーマとし、好評の企画展となりました。

①かがしもの考古名品展②再発見!鹿児島島の歴史③新発見!かがしもの遺跡2002④かがしもの石の文化⑤よみがえる古代人⑥火山と共に生きた人々⑦新発見!2004速報展⑧レールの下のお話⑨命と祈りの考古学⑩発掘された鹿児島島の人々⑪新発見!かがしもの遺跡2005⑫上野原遺跡発掘20周年記念展⑬災害考古学展⑭新発見!かがしもの遺跡2006⑮縄文海進と錦江湾の考古学⑯熊毛の考古学、南の島の最古の土器⑰新発見!かがしもの遺跡2007⑱道の島の大むかし⑲殿様の器から庶民の器まで⑳新発見!かがしもの遺跡2008㉑縄文の曙と終末㉒発掘された鹿児島島の窯跡㉓明らかにされた南薩の祈り㉔新発見!かがしもの遺跡2009㉕いにしえびとの想い㉖理科少年の考古学探検記㉗新発見!かがしもの遺跡2010㉘古代アクセサリーの魅力㉙不思議な出土品㉚新発見!かがしもの遺跡2011㉛川内川流域に生きた人々㉜半径1500mの歴史と文化㉝新発見!かがしもの遺跡2012㉞開園10周年記念特別企画展縄文人の匠の技㉟古代人の華麗な技㊱巨大噴火と共に生きた人々㊲新発見!かがしもの遺跡2013㊳すべてはマンローから始まった㊴明らかになった郷土の歴史と文化㊵新発見!かがしもの遺跡2014㊶古墳時代のかごしま㊷蘇るSHOKU I㊸新発見!かがしもの遺跡2015㊹蘇るSHOKU II㊺上野原遺跡発掘調査30周年記念展㊻新発見!かがしもの遺跡2016㊼近代化の一翼を担った薩摩焼㊽蘇るSHOKU III㊾開園15周年記念縄文ワールドかごしま㊿明治維新前後の鹿児島①バックナンバー古の美術品②道路の下のお話③弥生もスゴイ!かごしま④バックナンバー古の美術品II⑤新発見!かがしもの遺跡2019⑥戦国武将島津義弘の武と雅⑦御楼門建立⑧新発見!かがしもの遺跡2020⑨海と生きた古代人⑩どうして?!縄文体験⑪新発見!かがしもの遺跡2021⑫海と生きた古代人II⑬みどころ再発見!きりしまの文化財⑭開園20周年記念企画展南の縄文文化～縄文人の心を探る～



開園20周年記念
上野原縄文の森 第64回企画展



森の縄文文化

～縄文人の心を探る～

令和4年 9/17(土) ▶ 11/23(水) 祝

異形石器
(上野原遺跡出土)
【重要文化財】

石刀
(町田掘遺跡出土)

土製品
(上野原遺跡出土)
【重要文化財】



土偶(上半身)九州国立博物館蔵
(伝青森県つがる市木造亀ヶ岡)
撮影者:落合 晴彦

よかっ!!

【開園時間】午前9時～午後5時 (展示館入館は午後4時30分まで)

【休園日】毎週月曜日 (休日に当たるときは、その翌日)

12/30～1/1(年末年始)、2月中旬(臨時休園)(1/2～1/3、4/29～5/5、8/13～8/15は無休)

【展示館利用料金】 (団体は20人以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料

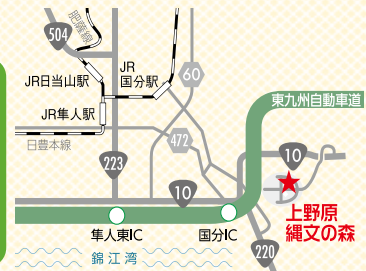
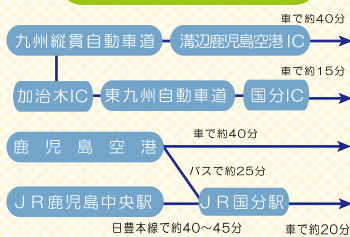
◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 320円
◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 250円

(鹿児島県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)
(団体でご利用(展示館・体験学習館など)の場合は事前にご相談ください)

◇鹿児島県内にお住まいの70歳以上の方は、展示館利用料金が無料です。

◇鹿児島県内にお住まいの小・中・高校生は土・日・祝日に限り、展示館利用料金が無料です。
(いずれも年齢等が確認できる書類をご持参ください。)

アクセス



公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 上野原縄文の森

〒899-4318 霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704

URL <https://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp

